

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

西南学院舞鶴幼稚園

西南学院早緑子供の園

2014(平成 26)年度 学校法人 西南学院 事業計画書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement of Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目 次

はじめに	1
I. 学校法人西南学院の事業計画	2
1. 教育理念と目標	
2. 「21 世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”	
3. 100 周年及びその後を視野に入れた中長期計画	
4. 2014 年度における主な事業計画	
II. 西南学院大学事業計画	5
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
第 12 次財政計画 (2014～2017 年度)	
学費改定	
3. 2014 年度における主な事業計画	
III. 西南学院中学校・高等学校事業計画	11
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2014 年度における主な事業計画	
IV. 西南学院小学校事業計画	15
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2014 年度における主な事業計画	
V. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画	18
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2014 年度における主な事業計画	
VI. 西南学院早緑子供の園事業計画	19
1. 保育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2014 年度における主な事業計画	
VII. 資料	21
各学校事業及び行事予定	

はじめに

1916年、福岡市大名町にて教職員9人、生徒104人からスタートした「私立西南学院」が、現在の学校法人西南学院(以下、「学院」という。)の母体である。1921年には旧専門学校令による高等学部を開設し、1940年、西南保姆学院を開設。第二次世界大戦を経て1947年に中学校、1948年に高等学校を開設、1949年の大学設置へと繋がる。そして、1950年には早緑子供の園(保育所)と舞鶴幼稚園を学院内組織に組み入れたことによって、現在の学院の基盤ができていった。その後、大学の学部・学科や大学院の研究科の充実、中学校・高等学校の男女共学化及び一貫教育の実施等を経て、2010年に小学校を開設し、現在の学院組織が完成した。

創業者 C.K. ドージャーの教育理念は「キリスト教に基づく人格教育」であり、その遺訓である“**Seinan, Be True To Christ** - 西南よ、キリストに忠実なれ-”は、学校法人西南学院の「建学の精神」として現在に継承されている。

1999(平成11)年3月の理事会では、建学の精神を踏まえて、学院の使命として「学校法人西南学院は、『キリストに忠実なれ』の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする」と定義した。学院の各学校・園では、建学の精神と使命を踏まえて、各々の教育理念を分かりやすく伝えることに力を入れており、本事業計画でも各学校・園の章の冒頭に「教育理念と目標」として掲載している。

2014年度は、学院創立100周年まであと2年と迫った時期となり、100周年に向けた各種記念事業、記念行事を計画している。これらの状況を未来に向けた新しい活力の源として、学校法人西南学院及び同法人が設置する各学校・園は、学生、生徒、児童、園児一人ひとりに向き合う、より良い教育を提供することを念頭に掲げて、2014年度の事業計画を作成した。

本事業計画書の構成は、学院本部、西南学院大学、西南学院中学校・高等学校、西南学院小学校、西南学院舞鶴幼稚園、西南学院早緑子供の園における、1. 教育理念と目標、2. 中長期計画、3. 2014年度における主な事業計画から成る。基本的構成は例年のとおりであるが、一昨年度からは、3. 2014年度における主な事業計画の中に、それぞれの学校・園における宗教活動部門の計画を含めることとした。言うまでもなく本学院における宗教活動は、キリスト教主義学校としての本学院の各学校・園の根源を成すものとして、創立当初から途絶えることなく連綿と継承され現在に至っている。そこで、一昨年度からは、従来、宗教局報告のみに記載してきた宗教活動についても、各学校・園における主な事業として事業計画に含めることが適当と判断し、その活動内容を広く公開するものである。

学校法人西南学院は、2016年の創立100周年に向けて、西南学院の各学校・園では、「**Thanks and Next** ～一粒の麦から、次の100年に向かって～」をキャッチフレーズに、2014年度も様々な活動を展開する。本学院は、建学の精神と使命、そして各学校・園の「教育理念と目標」と「中長期計画」に基づき、2014年度の事業計画を進めていく。

I. 学校法人西南学院の事業計画

1. 教育理念と目標

21世紀の西南学院は、創立100周年(2016年)を一つの節目として、建学の精神に根ざして積極的に真理を探究し、研究活動を進め、キリスト教に基づく全人格的教育・保育の活動を継続する。そして同時に、激しく変化する学院内外の環境に柔軟に対応し、社会のニーズにも可能な限り応えることができる学院を目指す。

2. 「21世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”

- ① 世界を導く力：真理に基づいて、世界を導く力を養う。
- ② 先駆ける精神：他に先駆けて、善と正義を実行しようとする精神を養う。
- ③ 思いやりの心：他者、社会、そして地球を思いやる心を養う。

3. 100周年及びその後を視野に入れた中長期計画

創立100周年事業に向けての取組み

“Thanks and Next ～一粒の麦から、次の100年に向かって～”

一粒の麦から始まった学院に感謝し、次の100年に向かって、建学の精神をもとに100年後も繁栄した学院の基礎を作る。

① 保育・教育

建学の精神と一貫した保育・教育理念に基づいて、各年齢段階に相応した質の高い保育・教育を提供し、社会に貢献できる国際的な人材を養成する。

② 研究

個人及び共同による基盤的な研究と特色のある研究を活性化、推進し、学術界に貢献する。

③ 施設・設備

上記の保育・教育及び研究の発展に寄与し、園児・児童・生徒・学生たちが安全かつ快適に学びを進められるよう施設・設備の充実を図る。

④ 経営と財政

迅速かつ適正な判断と行動ができるように経営体制を整備し、それを可能にする財政基盤を確立する。

⑤ 社会貢献と地域連携

学院が持つ知的資源の社会への還元を進め、環境問題への取組みを含めて最大限に貢献する。

4. 2014年度における主な事業計画

(1) 本学院の保育・教育の特色及び研究の強化

① 建学の精神に基づく全人格的教育・保育の提供

i. 学院聖句の学院内における浸透

キリスト教主義学校として、目指すべき聖書指針を制定し、聖句に込められたメッセージを西南学院に所属する教職員が理解し、その西南スピリットを保持することにより、学院の使命である世界への貢献を目指す。

2014年度 学院聖句（詩編9編2節〈新共同訳〉）

－ 感謝する Give Thanks －

わたしは心を尽くして主に感謝をささげ
驚くべき御業をすべて語り伝えよう。

ii. 建学の精神の教職員への浸透

多くの教職員に、朝の祈り会、大学チャペル、アルファ・コース、ファカルティ・リトリート、職員修養会、聖書に親しむ会、教職員クリスマスなどを通じて、建学の精神のベースとなっているキリスト教の基本的な理念を理解してもらうよう取組む。

iii. 宗教局関連の刊行物の発行

キリスト教についての理解を深めてもらうことを目的として、「宗教局報告」、「宗教局報」、「西南学院とキリスト教」を発行する。

iv. キリスト教精神の地域への浸透

西南学院コミュニティークリスマス、学院コンサートなどを通じて、西南学院のキリスト教精神について、地域の人々への理解を深める。

v. 西南デーの実施

西南学院の建学の精神であるキリスト教教育に基づく奉仕の精神を掲げ、諸教会の要請に応じる形で教職員自らがそこへ出かけて主日礼拝の奨励や講話を行う。これによって、地域の諸教会と西南学院の直接的な対話を図り、身近な存在として、より密接な相互の協力関係をもつことを目的として極力多くの教会で実施する。

② 質の高い保育・教育の提供

時代や環境の要請に応え、社会に貢献できる国際的な人材を育成するために、各学校・園において質の高い充実した保育・教育を提供する。そのために、教職員の能力の向上を図るための研修を充実し、継続して変革できる能力を育成する。

③ 教育・研究の強化のための資金の充実

保育・教育、研究に必要な資金を可能な限り投入する。また、学生生活を支援するために奨学金のさらなる充実を図る。

(2) 学院創立 100 周年に向けた広報戦略の策定と事業の推進

① 学院創立 100 周年のキャッチフレーズと 4 つの基本コンセプト(人や地域との絆、感謝・貢献、世界に貢献できる人間教育、時代を先取りする学術研究、守り伝える建学の精神)に基づいて、関東・関西地区を含めた広報戦略を策定してブランドイメージの浸透と向上を図るとともに、創立 100 周年に関連する各事業を推進する。同時に、同窓会と連携・協力し、寄附金戦略を策定し、推進する。

② 記念事業の一つとして、「100 周年記念館(仮称)」を建設する。2016 年度オープン予定の本施設は、学院史資料センター、同窓会関連施設、多目的ホールなどを備え、同窓生や地域住民との交流拠点としての役割を目指す。

③ 記念事業の一つとして、2014 年度においても「西南学院フェア」を開催する。「西南学院フェア」では、本学院が設置する保育所から大学、大学院各々が施設を公開し、普段は見ることのできない各学校及び園を見学してもらうとともに、学校紹介やふれあいイベント、オープンキャンパスなどを通じて、質の高い教育・保育を体感してもらうことにより、学院全体のブランドイメージアップを図る。

(3) 修猷協会土地取得と今後のキャンパス整備

本学院に隣接した修猷協会の土地を取得し、その土地を学院と一体感を持たせた広場と憩いの場として整備する。そのことによって、地域に開かれ、貢献する学院の全

体イメージの一部を具現化する。

(4) 防災計画の促進

災害発生時における学生・生徒・児童・園児、教職員の安全確保の充実に向けて、各学校において作成した防災計画に基づき、次のとおり防災安全対策を推進する。

① 防災物品・備蓄物品の整備

災害時対応に備え、発電機やトランシーバー、担架等の救護物品、さらに学生、教職員等が帰宅困難となった場合を想定した備蓄物品の調達を年次計画で進める。

② 防火・防災避難訓練の充実

各学校の消防計画に基づき定期的な避難訓練を実施する。訓練実施においては、学生・生徒・児童・園児、教職員の防災に対する意識の向上を目指すとともに、より実践的な訓練とすることによって、災害発生時の被害を最小限に止めるための技能の習得を図る。

③ 防火・防災体制の強化

教職員においては、防火・防災関係の資格取得や救命救急講習受講を積極的に促進し、日常的な防災管理の徹底や自衛消防組織や危機管理組織など災害発生に備えた体制強化を図る。

(5) エコキャンパスの促進

学院省エネルギー対策委員会や施設課を中心に学院全体のエネルギーの管理及び高効率機器の中・長期的な導入の検討を行うとともに、学生・生徒・児童・園児、教職員に対する省エネ意識の向上を図り、温暖化対策・環境問題への種々の取組みを推進する。

(6) 健全な財政基盤の確立

校納金の安定的な確保と補助金(経常費補助金・競争的資金)をはじめ、外部資金の獲得、株式会社キャンパスサポート西南からの寄附金や学院創立 100 周年記念募金を含めた寄附金収入の増大及び株式会社キャンパスサポート西南との連携を強化しながら総人件費と一般管理経費の抑制を図り、決算において帰属収支差額比率 10%を目指し、又キャッシュフローの改善を推進していく。なお、施設整備計画に当たっては、計画的に引当資産の充実を図る。

(7) 校友行政の充実

2013 年 7 月に設置した総務部校友課を通じて、園児、児童、生徒、学生及びその保護者、各園・学校同窓生、教職員など学院と関係するすべての方々との「絆」やつながりを育み、それらのすべての方々から西南学院の教育・研究事業を支えていただくための関係を構築する。

(8) 東京オフィスの充実

首都圏での知名度アップ、同窓生の情報収集及び連携強化、首都圏での就職活動支援の強化を目的として 2013 年 1 月に開設した「西南学院東京オフィス」(東京都千代田区丸の内 1-7-12)では、2014 年度も様々な取組みを実施し、さらなる機能強化を図っていく。

Ⅱ. 西南学院大学事業計画

1. 教育理念と目標

(1) 大学の教育理念と目標

西南学院大学は、教育理念と目標を学則第1条に以下のとおり定めている。

「キリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成することを目的とする。」

(2) 教育の四つの特色の強化

① キリスト教主義に基づく人格教育

「キリスト教学」を通じて、聖書の学問的理解、キリスト教の教理及び倫理思想等の概説等を学び、キリスト教への知的理解を深めることによって学生個々人の良心的な人格の形成を行う。また、大学チャペルでは、人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題等について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度からの講話を提供する。

② 国際性

国際交流プログラムとして、1年間及び1学期間の派遣留学、私費留学、夏季・春季休暇中の短期語学研修、更に学内における海外からの留学生との交流等の多様な機会を提供し、異文化を理解する能力、そして異文化社会に適応できる能力、更に複数の文化的視野を備えるための国際的なコミュニケーション能力を育成する。また、協定校間の教員の派遣・受入れを行い、さらなる国際化を推進する。

③ 少人数教育

学生と教員との人格的なふれあいを重視し、1・2年次ではクラス制を採用し、クラス主任が学生の相談を受け、アドバイスを行う。また外国語やキリスト教学等の教養的科目、基礎演習等の専門科目で少人数による学修指導を行い、3・4年次の少人数のゼミナールでのテーマ別の研究を通じて大学教育の仕上げを行う。

④ 語学教育と情報処理教育

語学教育の中核である言語教育センターでは、充実したCALL・LL・AV機器と豊富な教材を完備し、これらを活用した語学教育を活発に行い、授業では、映像(インターネット、DVD、ビデオ等)と音声を効果的に用いた実践的な語学教育を行う。

また、情報処理センターでは、約70室のマルチメディア教室を用意し、情報リテラシー教育から高度な情報処理技術の習得を目指した教育を行う。

2. 中長期計画

(1) 第12次財政計画(2014～2017年度)

① 第12次財政計画の策定

第12次財政計画のテーマは、「さらなる国際化の推進」である。第11次財政計画から継続している課題や問題、各学部、各研究科、各部署等から調査、収集した要望を基に重要度と緊急度の視点から整理し、「さらなる国際化の推進」のための財政的な措置と、特色ある取組みを創設・育成する。

② 第12次財政計画での事業の概要

期間中に実施予定の事業の中で特徴的なものは以下のとおりである。

新図書館の建設	収蔵能力や閲覧席の充実に加え、新たに、アクティブ・ラーニング(学生の主体的・積極的・行動型の学修)に向けたディスカッション・スペースやプレゼンテーション・スペース、また、滞在支援のための飲食コーナーを設ける。
国際化のさらなる展開	国際交流協定校や語学研修校の拡大、海外の大学との共同授業や海外学修・研究する機会の拡大、語学試験対策講座や語学試験補助の実施等を通じて、国際化のさらなる展開を図る。
国際交流システムの構築	インターネットを活用し、学内においても、海外の大学との共同授業や海外の学生団体との交流を可能にする。学内にいる外国人の先生や留学生との交流に加え、海外にいる先生や学生との交流から学べる機会を広げる。
教育・学修支援制度の充実	基礎学力の不足や学修姿勢の未確立(教員から一方的に教えられることが多い高校までとは異なり、大学では自主的な学修が求められる)の解消に向けた、入学前教育や導入教育・初年次教育の充実を支援する。また、より効果的な教育や学修支援に向けた学生アシスタント等の養成・活用を支援する。
教育・研究の質的向上を図る資金	前回の第11次財政計画においても、この「教育・研究の質的向上を図る資金」を設け、学内GP・教育インキュベーションプログラム等の教育・学修を支援する制度の充実を図り、学生のさらなる成長を実現する様々な特色ある取組みを創設・育成してきた(教育・研究推進機構ホームページ参照)。今回の第12次財政計画においても、継続して特色ある取組みを創設・育成する。
その他の施設設備整備	中長期の施設設備整備計画であるキャンパスグランドデザインのもと、緑に囲まれた自然環境の中で心静かに熟考する空間(コートヤード等)、学生・教職員・地域住民による交流を育む空間(エントランスアベニュー等)を設け、新たな「知」を創出する環境を整備する。

(2) 学費改定

第12次財政計画（2014～2017年度）にあたり、下表のとおり学費を改定する。さらなる教育・学修環境の充実に向けては、経費削減への尽力だけでは不十分な状況であるとともに、消費増税による経費増加も踏まえ、教育充実費の新設及び授業料の増額を決定した。また、施設費においても、耐震等の学生の安全確保を目的に、学修環境の充実にも対応した中長期の施設設備整備計画であるキャンパスグランドデザイン（新図書館の建設等）を踏まえ、増額する。なお、入学時の負担軽減等を考慮し、入学金は減額するとともに2013年度以前に入学した在学生については、授業のみの改定に留めた。

<2014年度以降に入学する新入生> (単位：円)

学費項目	改定前	改定後
入学金	270,000	200,000
授業料	720,000	(2014年度) 740,000
		(2015年度以降) 750,000
施設費	130,000	170,000
教育充実費	—	40,000

<2013年度以前に入学した在学生> (単位：円)

学費項目	改定前	改定後
授業料	720,000	(2014年度) 740,000
		(2015年度以降) 750,000
施設費	130,000	130,000
教育充実費	—	—

3. 2014年度における主な事業計画

(1) 教育と研究の充実と強化のために

① 人格教育の強化

i. 大学宗教部活動の充実

a. チャペルアワーの実施

授業期間中の毎週3回(火・水・木)、週テーマに基づいた講話を中心にキリスト教の礼拝形式で実施する。個人の主体的な課題である人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度から話題を提供する。また、年2回春と秋には、内外からの様々な分野で活躍する著名なキリスト者を講師として招いたキリスト教フォーカスウィークを実施する。

b. 大学宗教部関連の行事

- ・クリスマス行事(クリスマスディスプレイ点灯式、キャンドルサービス)
- ・ファカルティ・リトリート(対象：大学教員)

ii. ボランティアセンターによる働きの推進

大学ボランティアセンターは、ボランティア活動を建学の精神の具現化及び大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員等によるボランティア活動を支援・促進することを目的として、学内外において様々なボランティア活動を行う。

特に、東日本大震災に対しては、被災地の復旧、復興の支援の一つとして、被災地でのボランティア活動を次の目的をもって実施する。

- a. 被災地での被災者の支援を行うこと
- b. 支援活動を通じて学内でのボランティアの育成を行うこと
- c. 本学の建学の精神である、「キリストに忠実なれ」の実践と、若者の社会参加に活かせる精神を涵養すること

② カリキュラムの充実(体系的・構造的な教育課程の編成と共通教育の整備)

学生便覧へ掲載した履修モデルを再確認して適宜修正を加えるとともに、ナンバリング(科目コードの付与)を行うことを検討する。また、新しく設置された共通教育検討委員会で、共通教育に関する諸問題の調査、適正な解決策の検討及び解決支援並びに共通教育センターの設置準備を行う。共通教育の意義、位置付け、新しい需要に対する科目の開設や入学前教育及び導入教育、学修支援などを審議し方向性を明確にする。

③ 国際化の推進

i. 学士課程教育の国際化を実質的に展開することを目的として、プログラムを検討し、段階的に整備を進める。その一環で言語教育センターの施設、設備及びメディア教材等の利用促進を図る。全学生に年間最低1回のTOEIC(公開テスト又はIPテスト)の受験を奨励する。受験者には受験料の全額又は半額程度の補助に加えて語学検定対策講座の受講料補助も行い、英語学習を側面から支援する。なお、受験料補助については、TOEIC 以外に TOEFL、IELTS の語学検定試験に対しても適用する。各年次の目標スコア到達を目指し、英語コミュニケーション・スキルのレベルアップを図る。

ii. 2014 年度より、アメリカのファーマン大学、サムフォード大学、チェコのカレル大学、マサリック大学、ハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学との交流を新たに開始し、協定校は 14 か国 41 大学となる。更に、2013 年度に加盟した日本の 12 大学とカナダの大学 10 校から構成されるコンソーシアム「日加戦略的留学生交流促進プログラム」及びアジアのキリスト教主義大学 8 か国約 60 校から構成される「アジア・キリスト教大学協会」との交流も開始する。

また、留学生別科では、各協定校から毎年約 70 名を受入れ、スタディー・アブロード型プログラムによって、日本語の他に、日本文化や経済等に関する約 20 科目を英語で提供している。

なお、本学における学部教員(196 名)のうち外国人教員が占める割合は約 11.7% (23 人)となっている(2014 年 4 月 1 日現在)。

④ 入試制度の充実

入学者の質の向上と量の確保のために、受験生や社会のニーズに基づき、入試制度の充実を図る。2014 年度については、東京試験場を設置するとともに、WEB 出願の導入やシニア層向けの入試について具体的な検討を進める。

⑤ 大学間連携の強化

i. Q-Links(九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク)、福岡西部地区五大学連携等の複数の大学間連携事業を継続的に推進する。

ii. 2011 年 4 月に九州大学、福岡女子大学及び本学のコンソーシアムとして設置された欧州委員会の資金援助による「EU Institute in Japan 九州」においては、2014 年度も計画に基づき、円滑な展開を図る。

iii. 本学大学院法学研究科は、エクス=マルセイユ大学大学院法学研究科との覚書(修士課程・博士課程の学生に主として日本法、ヨーロッパ法を修得させる)に基づき、フランスから1名の外国人留学生を受け入れる。

⑥ 新学部・学科の設置に向けた検討

社会と受験生の需要を充足するために、設置準備委員会により新しい学部設置等に関する設置詳細案を固めて、それに関する学内コンセンサスを得るとともに、文部科学省への申請に向けて、更に具体的な検討を進める。

⑦ 教育・研究支援

i. 内部質保証システムの構築

大学基準協会が提唱する「内部質保証システム」を基本に、全学及び各学部・学科・専攻、研究科、各部局、センター等の課題を抽出し、「評価指標」と「行動計画」として提示して、2013年度の目標設定を完了した。今後は、問題解決と課題達成に向けた取組みを自己点検評価制度の中で推進する。

ii. 教育・研究推進機構の活動

a. 教育インキュベートプログラムにより、特色ある教育の充実と強化を進める。また、研究インキュベートプログラムにより、引き続き研究の充実と強化を推進する。併せて、科学研究費助成事業をはじめとする外部資金や公的資金の適正な獲得のためのセミナーを実施するとともに、外部資金や公的資金の適正な管理を行う。

b. 大学改革フォーラムを継続して開催し、法令や政策の動向を確認・理解するとともに、教育・研究に関するセミナーやワークショップにも参加し、本学固有の課題への対応方法を検討する機会として活用する。なお、文部科学省等の政策や法令の動向を確認して、プログラムの再構築を進める。

iii. 教育と学修支援の充実

入学前教育や初年時教育を全学的に実施できるような枠組みを作る。特に、授業支援と学修支援においては、SA・TAを有効に活用し、より一層の充実を図る。なお、かかる経費の一部に、特色ある学部教育実施経費を増額し、投入する。

iv. 大学奨学基金の充実

大学給付奨学金の財源を充実させ、多様なニーズに対応した学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。そのための基金として1億円を積立てる。

(2) 社会貢献の充実と強化のために

① 生涯教育の充実

前期・後期に区分して公開講座、リカレント講座、西南コミュニティーセンター主催講座を開講する。

② 博物館の充実

春季特別展として、海と船の博物館ネットワークの支援をうけて、梅光学院大学博物館と神戸大学海事博物館と連携した大学博物館共同企画「海路ーキリスト教文化の受容と展開」、秋季特別展ではジュダイカ・コレクションⅢ「祈りの継承」を開催する。また、「古写真でみる西南学院」や博物館実習受講生による企画展を実施する。併せて、特別展関連公開講演会や「せいなんこどもワークショップ」なども行う予定である。

(3) 教育と研究の環境整備のために

① 大学キャンパスグランドデザインの推進

2011年度末に策定された「西南学院大学キャンパスグランドデザイン」に沿って、下記の計画を進める。

i. 新図書館の建設

図書館の老朽化に伴い、新しい図書館を旧本館跡地に建設する。2017年度オープンを目指し、今年度中に設計を完了させ、2015年春に建設工事へ着工する予定である。新図書館は、新たな機能として、学生の主体的な学修を支援するラーニング・コモンズを備え、物的・人的な支援を行うと共に、学生がリラックスし長時間滞在できる空間の提供を目指す。

ii. エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会の活動を充実させ、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組む。

施設・設備面では、老朽化した1号館西棟及び図書館新館部分の空調設備の取替えを行い、省エネルギー化を図る。更に女子学生寮の補修工事の一環として、各寮室の便器を最新式の節水型に取替えを行う。

上述の新図書館をはじめ、今後建築する建物については、太陽光発電パネル、屋上等の緑化、雨水の再利用、人感センサー設置、省エネタイプの空調機器や照明器具の採用を検討し、より効率的な設備の導入を図る。このほかに、大学受動喫煙防止対策に関する委員会と連携し、キャンパス内の完全分煙化に向けたクリーンなキャンパスづくりを推進する。

iii. 将来の施設建設資金の確保

新図書館、新学術研究所及び新講義棟の建築資金並びに体育館及び西南会館の改築資金を、各施設・設備の整備予定年度を考慮して計画的に積み立てる。

② 情報処理環境の整備

2015年度に計画している西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)の更新に向けて、利用者へ要望調査等を実施し、整備内容の検討を行う。また、2013年度から計画的に実施しているマルチメディア教育機器の更新(新デバイスへの対応)を、2014年度から2015年度にかけて引き続き実施する。

Ⅲ. 西南学院中学校・高等学校事業計画

1. 教育理念と目標

西南学院の建学の精神を伝える言葉として、C.K. ドージャー先生による“Seinan, Be True To Christ — 西南よ、キリストに忠実なれ—”という言葉が残され、この精神を守ることが私たち教職員の役割であり、西南のアイデンティティを形成する礎となっている。間もなく100周年を迎えようとしている西南学院と私たちは、「キリストに忠実」であるために、以下のような方針で教育を行っている。

(1) 隣人(他者)に仕える。(「隣人を自分のように愛しなさい」ルカによる福音書第10章27節)

私たちには、神さまから多くの「賜物(能力・個性)」が与えられている。それらをどのように用いるのかが一人一人に問われている。「何のために生きるのか」「何のために学ぶのか」という問いは若い人たちにとって、いつの時代にも「自分さがし」の普遍的なテーマとなってきた。本校の生徒たちには、これらの課題と向き合いながら、賜物をどのように生かし、自己実現を達成するのかを考えて欲しいと願っている。聖書では、「隣人」とは自分より弱い立場や、困難な状況に置かれた人を表す重要な言葉である。聖書は、そのような隣人に仕え、「共に生きる」生き方を教えている。

(2) 平和を作り出す。(「平和を実現する人々は、幸いである」マタイによる福音書第5章9節)

「隣人に仕える」とは、具体的にはどのようなことであろうか。私たちの周りには今も戦争や暴力、人権侵害、貧困などの問題が多くある。更に、私たちは限りある資源を消費することで、環境を破壊して生きている。21世紀に生きる私たちには、これらの問題に対して、地域で、地球規模で「平和を実現する」ことが求められている。そのような私たちにとって、アフガニスタンでの中村哲医師(西南学院中学校出身、ペシャワール会)の活動は、私たちに大きな示唆を与えてくれる。

中学・高校時代にどのような教育を受けるかは、その後の人生に大きな影響を与える。教育は、彼らのこれからの人生の土台となり、大きな方向性を与えるだけでなく、自分が本当に進みたい大学の学部や学科など進路を決定する動機付けともなるからである。そういう意味で、この時期をどのように過ごすのか、その「中身」が大切である。若い今は不安でいっぱいであるかも知れない。しかし、整えられた施設内での、豊かな歴史の上にキリスト教を土台にした人格教育と授業、確かな進路指導、多彩なクラブ活動やボランティア活動などは、十分に彼らの期待に添えるものであると考えている。

2. 中長期計画

経済指標に好転傾向が見られるという調査結果があるものの、少子化と個人所得の伸び悩みなどを背景として、公立志向が一層強まる中、私立学校を取り巻く環境は依然として厳しいままである。加えて、周辺私学の男女共学化という状況変化も重なり、入学志願者数の維持と入学定員の確保が重要な課題となっている。本校も強い危機感を持って、優秀な生徒の確保のためにこれまで以上に自助努力をつづけていかなければならないと考えている。

西南学院小学校から西南学院中学校への生徒受け入れについては、西南学院小学校との間に設置した「小中高連携検討委員会」において検討を進め、2014年4月から第一期の生徒

を小学校校長推薦と言う形で受け入れることとなった。また、西南学院中学校学則に定める生徒定員と学級数についても見直しを行い、一学年220名、6クラスとしたところである。今後は、西南学院中学校・高等学校入学後の学業面の推移、生活面での動向などの情報を集積し、小中高のよりよい連携や教育内容の充実について検討していかなければならない。さらには、西南学院大学との所謂「高大連携」についても研究を進めていく必要があると考えている。

国際化への対応としては、高等学校における交換留学制度、海外の大学等への進学希望者や外国人生徒の受け入れを想定したクラスの新設などについても、調査・研究を進めていきたい。

施設面に関しては、2003年度に西新校地から百道浜校地に移転して11年が経過し、施設設備の経年劣化が進んでいることから、建物維持の検討及び修繕を実施する時期になっている。また、同時に教育設備の更新などについても併せて検討・実施する必要がある。100周年記念事業として準備をしてきた体育館・校舎の空調機器設置・更新計画のうち、体育館アリーナ1・2の空調機器は、猛暑による熱中症対策を急ぐ必要があることから、設置計画を前倒し、2013年度末までに完成することとなった。この他、災害時の非常対応のための備蓄キッドや非常用トイレの設置、省エネ推進のための太陽光発電設備の設置なども研究課題であり、今後の施設・設備の修繕・更新・新設などの計画については、財政計画も含めて多方面から検討を進める。

主な中長期計画として、具体的に次のものが計画されている。

- 2014年度 西南学院小学校から中学校・高等学校への生徒受け入れ開始
- 2015年度 校舎4階部室ビレッジの大規模改修
- 2016年度 体育館全館への空調機器の設置、校舎全体の空調機器の交換
- 2017年度 屋内長尺シート類の張り替え

3. 2014年度における主な事業計画

(1) 学校評価の検討

自己評価、外部評価についての研究を引き続き行う。

(2) 教員研修制度の充実

一定の条件を満たす教員を対象に、研修の受講に要する経費の全額または一部を補てんするとともに、持ち時間数の軽減を図る措置を講じるなどして、研鑽できる環境を整える。2014年度予算には、研修補助のための経費を計上しており、これから応募のガイドラインを策定する予定である。

また、新任教員への研修・指導についても、充実を図っていきたい。

(3) キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとするプログラムを推進し、その充実に努める。

① チャペル

聖書に基を置き、中高生の成長過程を考慮した月主題カリキュラムのもと、中学、高校各学年別に週1回、礼拝を行う。

② ミッションウィーク

前期・後期の2回、キリスト者として平和・人権・伝道の分野で活躍しておられる方を講師として迎え、3日間(中学前期のみ2日)連続の特別講話をうかがう。自身の

生き方・使命を考える時となるよう励ます。

③ ボランティア活動

年2回の施設訪問・活動を中高合同で企画すると共に、推薦入学決定者を対象とする体験学習を1月に実施する。恒例のクリスマス街頭募金と共に、災害発生時の被災者支援を目的とする緊急募金等にも取り組みたい。また、高校生有志によるホームレス支援活動に継続的に取り組む。

④ 平和教育、人権・「同和」教育

中高6か年にわたって取り上げる内容を定めたカリキュラムによって今日における人権諸課題を学ぶ。韓国ハヌル教会(メソジスト派)との協力関係の中で回を重ねている平和研修「韓国の旅」を中高合同で計画・実施すると共に、中学では平和に関する映画鑑賞や特設LHRを行い、中3修学旅行を沖縄での平和学習を主とした内容で実施する。

(4) 奨学事業の充実

2008年度から3年をかけて3億円の奨学基金の積み立てを行った。また、2014年度からは、その基金の運用益を財源として、新入生を対象とした奨学金(施設拡充費の半額相当額)給付制度の運用を開始することを決定した。今後は、より安定した奨学事業財源の確保と有効活用を図っていくため、2014年度から3年をかけて更に3億円を奨学基金として積み立て、総額6億円まで増額させていく予定である。

(5) 建物、設備の修繕・改修計画の策定

懸案であった体育館のアリーナ1、アリーナ2の空調設備の設置は、2013年度をもって完了した。今後は、4階部室ビレッジの改修について、具体的な設計に着手する。

また、今後の建物、設備の経年劣化に対応するため、計画的に修繕・改修を進めていく。

(6) 事務システムの開発

2009年度後期から約1年間をかけて学籍及び教務関係並びに入試に関するシステムの開発を行ったが、未着手となっていた経理関係や庶務関係の事務システムを中心に2013年度から2年間かけて開発している。2014年度末までにはシステム開発を完了し、業務の効率化と本部・大学の事務システムとの平準化を図る。

(7) 中高一貫教育体制の再点検

2014年度は高等学校が男女共学に移行して21年目、また、創立100周年を迎える2016年度は中学が男女共学に移行し、さらに中高が一貫教育を開始して21年目を迎える年度である。これを機に、中高それぞれの教育課題、校務分掌、学校行事等の見直しを行い、より強固な中高一貫体制の確立を図る。

(8) 西南学院小学校との連携について

2014年度から始まる西南学院小学校からの生徒受け入れについては、今後も継続して「小中高連携検討委員会」や小中高の関係教員との情報交換などを実施しながら連携し、当面の諸課題に取り組んでいく。

(9) 広報活動の充実

2012年4月に設置された広報委員会は、2014年度から広報部に発展した。2012年8

月に全面リニューアルした本校ホームページをさらに充実させるとともに、広報主任を中心として、広報活動と情報発信に力を入れる。

(10) 進路指導の充実

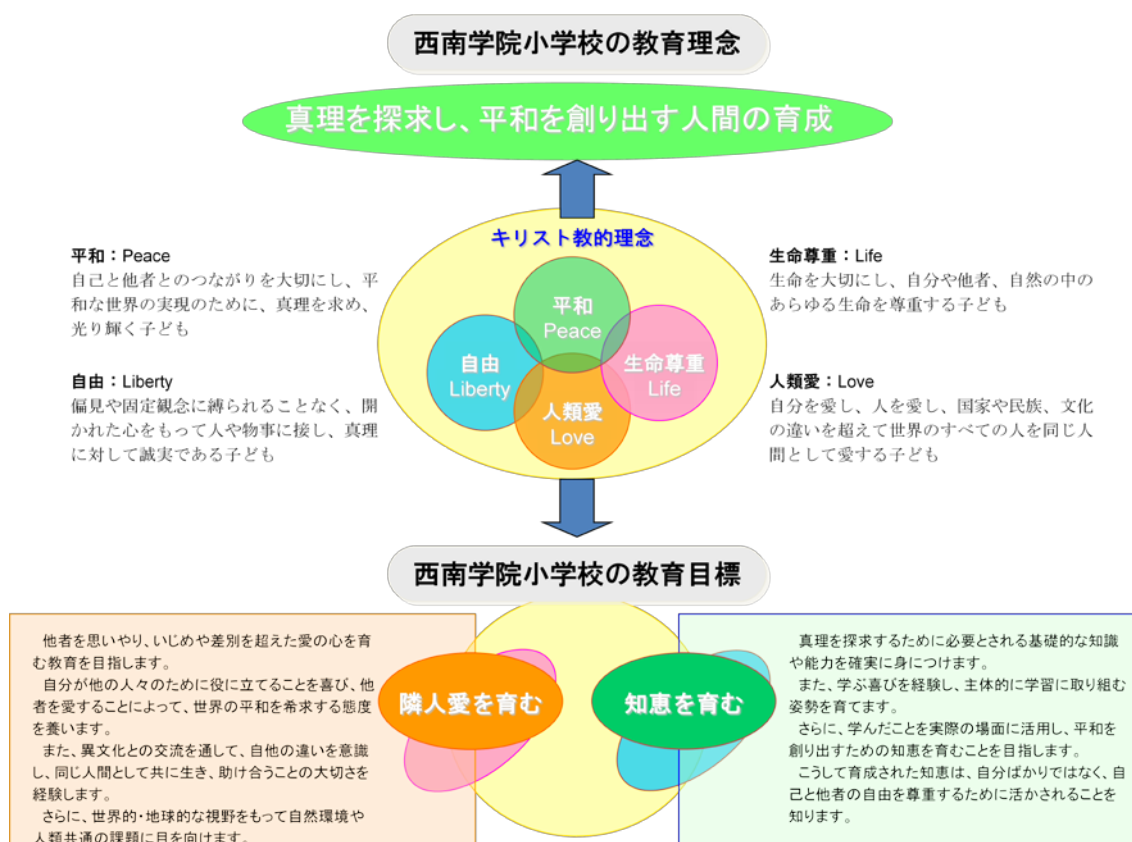
2014年度から、これまで中学校と高等学校それぞれに設置されていた進路指導部を統合し、中高一貫教育6年間における進路指導体制の充実を図ることとした。

IV. 西南学院小学校事業計画

1. 教育理念と目標

小学校の教育理念及び教育目標については、“Seinan, Be True To Christ — 西南よ、キリストに忠実なれー”という西南学院の建学の精神を基盤としながら、小学校に相応しい内容となるように策定している。

具体的には、小学校の設置にあたり院長が提示したキリスト教的理念(Peace：平和、Life：生命尊重、Love：人類愛、Liberty：自由)から、小学校が目指す子ども像を導き出し、それを基盤として検討を重ねた結果、教育理念を「真理を探究し、平和を創り出す人間の育成」、教育目標を「隣人愛を育む」「知恵を育む」と定めている。(下図参照)



2. 中長期計画

(1) 教育目標の達成

毎朝の礼拝や宗教の授業、キリスト教に関する諸行事等を通して、低学年時から高学年に至るまで、キリスト教への理解を深める教育を行うことにより、隣人愛を育んでいく。

また、日々の学習習慣をしっかりと身につけさせ、児童の学力向上を図るとともに、実践授業や体験活動を通して、学んだ知識や技能が生かされることにより、知恵を育む。

このことにより、小学校で学んだ児童全員が学習面及び生活態度面の両方において教育目標を達成し、西南学院中学校へ進学できるように成長することを目指す。

(2) 教員の質の向上

教科ごとの指導方法研究、教員間の公開研究授業(参観)の実施、学内研修やキリスト教学校教育同盟等の諸団体が主催する外部研修への参加、授業評価などを通して、教員のスキルアップを目指す。また、新任教員や経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図り、これらの内容を纏めた研究紀要を発行する。

さらに、礼拝等を通してキリスト教への理解を深めることにより、教育力だけではなく、キリスト教主義学校に勤務する教員に相応しい倫理観の育成に努める。

(3) 財政基盤の確立

入学志願者の増員を図る努力を継続して行い、入学定員を充足させ、安定した授業料収入を得るとともに、寄附金収入の割合を増加させる方策を講じるなど、財政基盤の確立を図る。

また、教員の採用にあたっては、年齢配分や適正な人員配置などに留意して計画的に雇用を行い、人件費支出の抑制を目指す。

3. 2014年度における主な事業計画

(1) 授業時間の確保と教育効果の検証

児童の学力向上を図るために、教科教育と実践授業・体験活動の時間配分を効果的に行うことで、各教科の十分な授業時間を確保する。また、アチーブメントテスト等の結果を精査して、教育効果の検証を行う。

(2) 教育プログラムの改善・充実

ネイバーキャンプ、ネーチャーキャンプ、ヒストリーツアー、スポーツフェスティバル、ウィングツアー、アセンブリー及びランチ指導などの年間行事の検証を行い、教育内容の精査・改善・充実を図るとともに、児童一人ひとりの充実した学びを推進するため、教育プログラムの最適化を図る。

また、本校卒業生の大部分が西南学院中学校へ進学したことから、中学校との連携を図り、教職員や児童・生徒間の交流活動を推進する。

(3) 宗教活動の充実

① 毎日の学校生活の中で

- i. 毎朝のチャペル 8:30~8:45 (4・5・6年生) 8:45~9:00 (1・2・3年生)
講話：月・水・金(聖書科担当)、火(教頭)、木(校長)
- ii. ランチタイム 食前と食後の祈り
- iii. 帰りの会での祈り
- iv. 聖書科授業(全学年週1回)

② ミッションウィーク(春・秋の2回)

- i. 外部より講師(牧師)を招聘し、2日間特設のチャペルを行う。
- ii. 秋には、保護者対象のチャペルを行う。

③ 感謝訪問(春：花の日チャペル 秋：サンクスギビングチャペル)

朝のチャペルのあと、持ち寄った花や手作りのクッキー等を持ち、学院内外の日頃お世話になっているところを訪問する。

④ クリスマス

- i. クリスマスツリー点灯式
- ii. クリスマスチャペル(クリスマスメッセージ、1年児童によるページェント、6

- 年児童による賛美、保護者と合同礼拝形式)
- iii. クリスマス献金の呼びかけ(児童、保護者)
- ⑤ 職員聖書研究会
- 2か月に1回、外部より講師を招聘。

V. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画

1. 教育理念と目標

理念：キリスト教保育を通し、思いやりの心を培いながら、ひかりの子として個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実施する。

目標：① 神に愛されている自分を知り、他の人たちを愛する喜びと生命の大切さを知ようになる(キリスト教保育)。

② 明るくのびのび活動する中で、丈夫な心と身体を育て、楽しく仲間づくりをする(のびのび保育)。

③ 障がいをもった子どもと共に育ちあうことを目指す(統合保育)。

④ 年齢の異なる子どもたちが一緒に遊び、親しく交わる(たてわり保育)。

2. 中長期計画

(1) 保育の質の向上を目指し、定期的に人間科学部の教員の指導を受けながら、園内研究会をより充実させる。

(2) 施設設備や自然環境に恵まれた幼稚園の機能を生かした「親子であそぼう会」「園庭開放」「育児相談会」などの子育て支援を充実させる。

(3) 「子ども子育て関連3法」について、早緑子供の園と一緒に学びながら、西南学院の幼稚園としての対応を考える。

3. 2014年度における主な事業計画

(1) 2013年に発刊した年間カリキュラムを実際の保育の中で確認、検討していき、更に充実した内容としていく。

(2) 2011年度に行われた施設点検に基づき、計画的に必要な修理を行っていく。また、2013年度に作成した幼稚園の資産管理、備品用品の購入と構築物を含めた保全のシステムに基づき、今後は施設課の力を借りながら、教職員全員で資産管理に取り組む。

(3) 宗教活動、行事について

① 各学年で毎学期、鳥飼バプテスト教会に出かけていく。礼拝堂で牧師先生のお話を聞く。

② 早緑子供の園との合同礼拝として、6月の花の日礼拝と11月の感謝祭礼拝を行い、日頃お世話になっている方々にお花や果物を届け、感謝の気持ちを伝える。

③ クリスマスには、保護者と共に守るクリスマス礼拝の他、各学年のクリスマスを祝う会を催す。特に年長の光組はイエス・キリストの降誕劇を通して全園児、また保護者や来賓にクリスマスの意味を伝えることを経験する。

④ 卒業礼拝は3月の始めの日曜に全園児、保護者の方々と守り、お祝いとお誘いに来てくれる鳥飼バプテスト教会の教会学校の子どもたちと交流の時を持つ。

⑤ キリスト教の信仰、家庭、子育てについて保護者が学ぶ機会として毎週開催される父母礼拝や、園児と共に運動会その他行事や参観の中で守る礼拝を通して、保護者のキリスト教保育への理解を深める。

VI. 西南学院早緑子供の園事業計画

1. 保育理念と目標

西南学院の保育所としてキリスト教を土台に、この時代に生きる子どもの健やかな成長を保障する。一人ひとりを大切にする保育を目指し、長時間保育の様々な場面で、子どもたちの真の自立を援助する。

2. 中長期計画

- (1) 西南学院の乳幼児教育施設として、現代の保育所に求められる役割や使命を果たすため、新たな保育制度の施行も視野に入れながら、様々な観点から将来像を模索する。
- (2) 現園舎建築時からの、年齢別園児の人数割りや子どもの発達自体の変化を鑑み、施設・設備の改築などの必要性を優先度に沿って検討し、計画・実行に取り組む。
- (3) 人員体制としての強化を図るため、園の職員全員の組織化を見直す。

3. 2014年度における主な事業計画

(1) 保育の充実

各職員が早緑子供の園の保育方針や子どもの発達の捉え方などについて共通理解の下に、6年間を見通しての保育が進められるように改編した保育課程(2012)を、さらに実践へと結びつく形で見直していく。また、園内研究会・保育内容検討会の充実を図り、保育の点検・評価のシステムを構築する。

(2) 保育所情勢

保育協会などが開催する研修会や勉強会などに積極的に参加し、認定子ども園への移行に関する事項も含めて新しい情報を得ながら必要に応じて検討の機会を持つ。また、園内でも勉強会等の機会を持ち、職員間で情報を共有していく。

(3) 西南学院大学・西南学院小学校・西南子どもプラザとの連携

大学人間科学部(児童教育学科・社会福祉学科)の保育実習生を多く受け入れ、西南学院で学んだ保育者を社会に排出する一助を担う。また現状に加え、さらに共に学びあうことができる機会・場を検討し、積極的に連携の強化を図る。

(4) 舞鶴幼稚園との連携

西南学院の乳幼児保育・教育施設として、保育・教育面はもとより、施設設備に関する事項や地域への貢献も含め、体系的に課題を整理する。

(5) 施設・設備

2011年度に行われた施設点検を基に、今年度も引き続き必要な修理を計画的に行う。また、食品衛生面と労働環境の観点から、厨房の空調設備の整備を行う。経年劣化した機器備品を計画的に入れ替えていく。

(6) 地域への貢献

園行事を積極的に地域にも開放し、地域の公民館の子育てサークルにおける育児支援

に参加するなど、地域の子育て支援の機会を持つ。地域に開かれた保育所としての役割を果たす。

(7) 宗教活動・行事

① イースター礼拝：4月

幼児クラスで礼拝を守った後、卵のお菓子探しをして祝う。

② 舞鶴幼稚園との合同礼拝：花の日(6月)、感謝祭(11月)

幼児クラスの子どもたちが、舞鶴幼稚園園児と共に礼拝を守る。その後、日頃お世話になっている方々に、花や果物を届ける。

③ クリスマス行事

i. アドベント礼拝・ツリー点灯式：11・12月(アドベント第一週の月曜日)

クラスでのアドベント礼拝、全体でのツリー点灯式を行う。この日から毎日アドベントカレンダーの窓を開け、クランツに火を灯しながらクリスマスを迎える準備を進める。

ii. こひつじクリスマス(乳児クラス)：12月

クラスごとに保護者も一緒に礼拝を守り、降誕のお話を人形や大型絵本などで観る。その後会食をしてクリスマスを祝う。

iii. クリスマスメッセージ・さみどりクリスマス：12月

保護者対象のメッセージの後、子どもたちがキャンドルサービスや降誕劇を行い、クリスマスの喜びを伝える。

④ 鳥飼バプテスト教会礼拝

幼児クラスの子どもたちが毎月鳥飼教会に出かけ、礼拝堂で牧師先生に神様の話をさせていただく。また、3月には年長児が卒園礼拝を守る。

⑤ 聖書を学ぶ会

i. 職員対象

年に4回、リディア・ハンキンス宗教主事を招き、月の聖句の背景や意味、子どもたちへの伝え方について学ぶ。

ii. 実習生対象

西南学院大学の学生が実習期間(年3回)に、リディア・ハンキンス宗教主事にキリスト教保育についての話をさせていただき、共に学ぶ。

⑥ 保護者対象

キリスト教保育の意味を日々の保育や子どもの姿から伝えていく。行事の折には最初に礼拝を守り、保護者にも参加していただく。

Ⅶ. 資料

各学校事業及び行事 [2014(平成26)年4月1日～2015(平成27)年3月31日]

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区協議会総会	・入学式 ・オリエンテーション ・前期授業開始
5月	・学院創立記念式典	・九州六大学野球春季応援合戦 ・留学生別科終了式 ・学院創立記念式典
6月	・キ学教同盟総会 ・日本バプテスト連盟事業体懇談会	・春季キリスト教フォーカス・ウィーク
7月	・キ学教同盟事務職員夏期学校 ・キ学教同盟西南地区夏期学校 ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション	・入試説明会 ・前期試験(～8月)
8月	・キ学教同盟西南地区校長会 ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会 ・職員夏期修養会	・オープンキャンパス ・夏季休暇 ・留学生別科入学式 ・法科大学院入試
9月	・伝道者養成に関する協議会	・修学懇談会 ・教職員懇談協議会 ・大学院秋期入試 ・前期卒業証書・学位記授与式 ・後期授業開始 ・ホームカミングデー
10月		・3年次転・編入等、帰国生入試
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会 ・キ学教同盟学校代表者協議会 ・日本バプテスト連盟定期総会	・大学祭 ・秋季キリスト教フォーカスウィーク ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試
12月	・西南学院教職員クリスマス ・西南学院コミュニティークリスマス	・キャンドルサービス ・冬季休暇
1月	・キ学教同盟西南地区校長会	・大学入試センター試験 ・後期試験
2月		・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試 ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格発表 ・大学院春期入試 ・法科大学院入試
3月		・センター試験利用入試(後期)合格発表 ・ファカルティ・リトリート ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・新入生オリエンテーション ・保護者学校説明会 ・保護者進路説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・1年学院紹介オリエンテーション ・学年・学級保護者会 ・2年集団生活
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会 ・教育実習 ・学院創立記念式典 ・人権同和教育研修会 ・中間考査 ・前期ミッションウィーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ミッションウィーク ・教育実習 ・学院創立記念式典 ・人権同和教育研修会 ・中間考査 ・後援会総会 ・クラスマッチ
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和教育特設授業 ・前期保護者懇談会 ・期末考査 ・教育研究会 ・教員聖書研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝読書週間 ・人権・同和授業 ・保護者面談 ・期末考査 ・教育研究会 ・教員聖書研究会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・終業式 ・夏季前期補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連開会式 ・終業式 ・指定者補習
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・訪豪研修旅行 ・韓国への旅 ・夏季後期補習 ・私学展 ・夏季教員研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季補習 ・私学展 ・夏季教員研修会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・スポーツフェスティバル ・オープンキャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・体育大会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・2年林間学校 ・1年・3年遠足 ・人権同和教育特設LHR 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・同和特設ビデオ授業 ・学校説明会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・後期保護者懇談会 ・後期ミッションウィーク ・教育懇談会 ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・合唱発表会 ・後期ミッションウィーク ・期末考査
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・フェアウェルパーティ ・クリスマス礼拝 ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・終業式 ・指定者補習
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・専願入試 ・専願入試合格発表 ・教員聖書研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定者補習 ・始業式 ・進路交流会 ・中学校入試 ・中学校入試合格発表 ・教員聖書研究会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入試 ・前期入試合格発表 ・後期入試 ・後期入試合格発表 ・期末考査 ・卒業礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年修学旅行 ・入学説明会 ・期末考査
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・入学説明会 ・終業式 ・訪米研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・修了式 ・終業式 ・指定者補習

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学式 ・新入生オリエンテーション ・アチーブメントテスト ・イースターチャペル ・懇談会 ・ウェルカムアセンブリ ・ホームアセンブリ ・防犯教室 ・ウェルカムピクニック 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式 ・入園式 ・教会学校開始 ・1学期父母礼拝開始(全9回) ・イースター礼拝 ・母の会総会 ・家庭訪問 ・未就園児保育、預かり保育開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会(音楽) ・避難訓練 ・創立記念式典 ・学習参観 ・ミッションウィーク ・ネイバーキャンプ(1・2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典 ・父親参加の日 ・光組社会見学 ・ミニ講演会、育児相談 ・歓迎遠足 ・防災訓練 ・親子であそぼう会(全9回)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会・講演会 ・花の日チャペル(施設訪問) ・ネーチャーキャンプ(3・4年) ・個人懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・ミニ講演会、育児相談 ・保育参観、懇談 ・光組社会見学
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学校公開・説明会(西南学院フェア) ・学期末テスト ・懇談会 ・平和学習 ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学 ・光組合宿保育 ・1学期終業 ・夏季休暇 ・未就園児対象水あそび(西南学院フェア)
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・夏休み作品展 ・入試説明会 ・ヒストリーツアー(5年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業 ・まいづるまつり ・未就園児対象どろんこあそび ・ミニ講演会、育児相談 ・避難訓練(地震) ・教会学校、2学期父母礼拝開始(全8回)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル ・避難訓練 ・ミッションウィーク ・クッキー作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入園募集説明会 ・運動会 ・月組お泊り保育
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクスギビングチャペル ・入学試験 ・合格発表 ・芸術鑑賞会(舞台) ・クリスマスツリー点灯式 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児願書受付 ・新入園児面接 ・未就園児クラス募集説明会 ・子育て講演会 ・みかん狩り遠足 ・感謝祭礼拝 ・光組社会見学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学習参観・懇談会 ・学期末テスト ・クリスマスチャペル ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・クリスマス祝会 ・もちつき大会 ・2学期終了 ・冬期休暇
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・新1年生入学説明会 ・ブレインオリンピック 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業 ・教会学校、3学期父母礼拝開始(全5回) ・避難訓練(不審者)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学習発表会(2～5年) ・ウィングツアー(6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春をよぶ会 ・母の会総会 ・光組社会見学
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・学習参観・懇談会 ・フェアウェルアセンブリ ・卒業式 ・修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・卒業式 ・終業式 ・新入園児健康診断 ・子ども同窓会 ・カリキュラム研究会

(7) 早緑子供の園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・保育開始 ・イースター礼拝 ・保護者懇談会 ・年長児社会見学1
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・春季総合健診 ・学院創立記念式典 ・保育園で遊ぼう会1 ・保護者会総会 ・親子遠足 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・年長児社会見学2 ・歯科検診 ・育児講座 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・田植え体験会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会2 ・さみどりこどもまつり ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・プール開き
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の集い ・お泊り保育説明会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育 ・保育園で遊ぼう会3 ・卒園記念製作（やきものづくり） ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・おじいさんおばあさんと遊ぶ会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学3 ・幼児クラス保育体験会 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・運動会 ・秋季総合健診 ・交通安全教室 ・稲刈り体験会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝祭礼拝 ・幼児クラス遠足 ・新年度入所申し込み書配布、受付開始 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・入園説明会 ・保護者会クリーンアップ大作戦
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・アドベント礼拝 ・ツリー点灯式 ・クリスマスメッセージ ・こひつじクリスマス ・さみどりクリスマス
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生同窓会 ・保育園で遊ぼう会4 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・入園説明会 ・新年度入所児発表、面接
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学4 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・保育園で遊ぼう会5 ・育児講座
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会 ・卒園礼拝 ・お別れ会 ・お別れ遠足 ・卒園式

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

西南学院舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

西南学院早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>